

将来を見据えた まちづくりに向けて・・・

2009・年頭のあいさつ

総合計画に基づく
施策の実現を目指す



安平町長 孝 瀧

町民の皆様、あけましておめでとございます。清々しい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、米国に端を発した金融危機に世界中が振り回された1年でした。投機マネーが入り込んだ資源市場の乱高下は物価高騰を招き消費者の生活に多大な影響を与え、日本が輸入大国であることを実感させられました。

日本ではG8各国の首脳による北海道洞爺湖サミットが開催。環境問題などが話し合われ、全国的に環境に対する意識が高まりました。

その一方、国政では、いわゆるねじれ国会の中、年金、後期高齢者医療問題などに、金融危機に伴う景気後退や雇用問題が加わり、将来に対す

る不安が増した年でした。

そんな中で開催された北京オリンピックでの日本人選手の活躍は暗闇を照らす一筋の光ではなかったでしょうか。

ひるがえって我が町の印象深い出来事として、議会で議決された「核兵器廃絶平和の町宣言」や、サミット開催を契機として実施したグリーンダム植樹祭や北海道電力による「あびらエネモの森づくり」のほか、明るい話題として町内各牧場の生産馬たちがGIレースで優勝。そして何と手たちの活躍です。特に昨シーズンから大きく成長したスピードスケートの高山梨沙選手（早来中）は、全国的に注目されW杯代表選出などの実績を残しました。

子どもたちの目覚ましい躍進を一番喜ばれたのは、生涯スポーツ振興に情熱を傾けアイスアリーナを建設し、スポーツ観戦を楽しみとしていた故・柴田勝治名誉町民（元早来町長）ではないでしょうか。平成19年に逝去された故・中村喜一名誉町民とともに、二つの巨星が落ち暗夜に灯を

失った思いでしたが、両氏が残した思いの結晶を目にするたびに、その先見の明に改めて感服し、深い敬意と感謝の誠を捧げるものであります。

基幹産業の農業は、燃料、資材、飼料、肥料の高騰が同時に起こる厳しい経営環境でしたが、米の作況「やや良」をはじめ、一般的に平年並み。乳価の値上げや燃料高騰の収まりなどから農業関係者の皆様方もやっと一息つくことができたのではないかと思います。しかし今後のWTO交渉の行方など、予断を許さない状況に変わりありません。

さて、合併して早くも4年目を迎える本町ですが、世の中の景気は昨年引き続き厳しさを増すとの見方もあり、新年早々暗い気持ちになりませんが、俗に「明けぬい夜はない」などと申しますように、このような時勢だからこそ、将来を見据えた投資が重要となつてきます。そのためにも町民の皆様をはじめ、企業、団体の方々のご協力をいただきながら安平町総合計画に基づき各種施策を厳選し、認定こども園・児童館等の機能を

ペタンク競技をPRする看板

（早来庁舎正面玄関前）



合わせ持つ児童福祉複合施設の建設、胆振東部消防組合安平支署消防庁舎の建設、大滝清原牧場の売却に伴う代替牧場の造成、鹿公園周辺整備など、児童福祉対策や防災対策、農業をはじめとする産業振興対策等を進めて参る所存であります。

また、今年は、ねりんぴつく北海道・札幌2009の種目の内ペタンクが本町で開催される予定で、関係団体をはじめとする町民の皆様のお力添えを得て、無事に成功させたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

最後に、町民の皆様にとりまして幸多き丑年（うしとし）となりませう心から祈願し年頭の挨拶とさせていただきます。